



5/5 釣った魚に歓声！
家族で楽しむ釣り大会

ゴールデンウィークに自然豊かな愛南町で釣りを楽しんでもらおうと、船越埋立地で「愛南ファミリー釣り大会 2018」（愛南町観光協会主催）が開催され、町内外から 19 組 76 名が参加して釣りを楽しみました。

当日は晴天で絶好の釣り日和となり、参加した子どもたちは釣り上げた魚に歓声を上げていました。大洲市から家族 4 人で参加した芳我治郎^{じろう}さんは、「どんな魚が釣れるか分からないところが釣りの楽しいところ」と笑顔で話しました。

5/15 全日本ラリー選手権へ
なーしくんも GO!

5月18日から20日まで久万高原町を舞台に行われる 2018 全日本ラリー選手権（第4戦）を前に、日本トップレベルのプロラードライバー、福永^{ふくなが}修さんが愛南町役場を訪問しました。

福永さんは、全日本ラリー選手権 2017 年間総合ランキング4位。4月末に行われた第3戦の「ラリー丹後 2018」では3位に入賞するなど好調を維持しています。

福永さんが大会で使用する車体には、なーしくんのステッカーも貼られて準備万端。

福永さんは「次戦はシーズン序盤の大切な試合。チーム一丸となって優勝目指してがんばります」と力強く話しました。



あんなことや、
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.91

「竜の一族 (サンゴの住人 その5)」



タツノイトコとヤギ (サンゴの仲間)

タツノオトシゴは、みんなが知っている魚の一つだろう。水族館で本物を見た人も多いのではないだろうか。漢字で「竜の落とし子」と書くことから、昔の人も竜を想像したのだろう。泳ぎは苦手で、ヤギや海草に体を巻き付けてユラユラしていることが多い。愛南の海にも生息しており、ダイバーにも人気の魚である。よく知られている魚だが、数は少なく、自然の中で見つけるのは簡単でない。

愛南の海には、タツノオトシゴだけでなく、タツノイトコ（竜の従兄弟）も生息している。竜に少しだけ似ているからこの名前が付いたのだろうが、おもしろい名前を付けたものである。数が少ない上に、体がヤギや海草に似ているので、見つけるのは非常に難しい。見つけることができると、テンションが上がってしまう珍魚の一つである。

私は見たことがないのだが、沖縄にはタツノハトコ（竜の再従兄弟）もいるらしい。どれくらい竜に似ているのか、自然の中で泳いでいる姿を見たいものである。

(撮影地：横島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照^{ともてる}

4/21 ~ 22 NHK のど自慢に町が沸く！

4月22日(日)に御荘文化センターホールで「NHK のど自慢」の公開生放送が行われ、前日の予選会を通過した出場者20組が自慢の歌声を披露しました。愛南町になって初めてやってきたのど自慢に町は沸き、番組を通じて愛南町の魅力が全国に発信されました。

グランプリを受賞した高田恵さん（高校3年生）
 「このような賞をいただき光栄です。スタッフの方の尽力と支えがあり、また出演者の皆さんがアットホームで温かく、自分の力を出し切れたと思います。ミュージカル・スターになるのが夢なので、この舞台に立てたことを糧として、これからも頑張っていきたいです」

愛南町から出場した清水百花さん（城辺中3年）
 「ものすごく緊張しましたが、好きな曲を大きな舞台上で歌えて嬉しいです。練習以上の出来でした。将来は音楽関係の仕事に就きたいので、これからも頑張っていきたいです」

愛南町から出場した山本太さん（久良漁協職員）
 「みんなに、特に家族に歌を聴いてもらおうという気持ちで歌いました。孫たちにも声が届いたと思います。娘が今年嫁に行くので、その娘にも声が届いたのではないのでしょうか」

愛南町から出場した久徳竜也さん（漁業）
 「緊張しましたが、愛南町らしくて良かったです。何よりも楽しかったです。みんな仲間になって、スタッフの皆さんも含めて一丸となれました」



NHK のど自慢出場者の皆さん



4月21日 予選会の様子



上／超満員の予選会会場。250組の出演者と観客が一体になって予選会を盛り上げました。

下／前日の予選会では会場に入れなかった人のために、御荘文化センターの駐車場に特設モニターが設置され、予選会の様子が映し出されました